

第二回 『災害救援センター(南池袋小)体制整備の進め方』  
に関する 意見交換会 議事メモ

2023.6.3(8.15 改定)  
雑司が谷・南池袋 町会防災スクラム

日 時:令和5年5月19日(金) 14:00-15:45

場 所:区民ひろば南池袋 活動室

参加者:光和会会長、親和会会長、雑司が谷三丁目会長、青葉会会長代理、東目白本町会  
会長、雑司が谷一丁目会長、南池袋二三四町会会長、同副会長、同防災部長 (7町会9名)

**【要 約】**

- ① 豊島区地域防災計画から、地域防災組織として町会が想定されていることを共有した。
- ② 地域防災組織は、救援センターの開設支援と運営を行うことを共有し、町会で可能な範囲での準備を行うことが提案された。
- ③ 具体的な実践的訓練が希望された。

**【目 的】**

- ① 大規模災害発生時の地域防災及び救援センターの開設・運営に関する基本資料の確認
- ② 11町会で取り組むとよいことについての意見交換

**【資 料】**

1) 豊島区地域防災計画抜粋

[https://fumiyochonet/wp-content/uploads/2023/05/Safe23\\_R2ToshimaCHIikiBousaiKeikakuPart.pdf](https://fumiyochonet/wp-content/uploads/2023/05/Safe23_R2ToshimaCHIikiBousaiKeikakuPart.pdf)

2) 豊島区救援センター開設標準マニュアル

<https://www.city.toshima.lg.jp/044/bosai/bousaijigyoudocuments/2202091026.html>

3) 豊島区救援センター開設キット中のカード

[https://fumiyochonet/wp-content/uploads/2023/04/Safe23\\_3ToshimakuKaisetsuKitGattaiPage.pdf](https://fumiyochonet/wp-content/uploads/2023/04/Safe23_3ToshimakuKaisetsuKitGattaiPage.pdf)

4) 3月3日議事記録

<https://fumiyochonet/wp-content/uploads/2023/08/230303Gijiroku0815.pdf>

5) 5月19日進行案\_たたき台(資料0:資料1の差し替え)

1. 挨拶 南池袋二三四町会会長
  - ① 豊島区地域防災計画等背景情報の確認は必須
  - ② 町会の役割は何か(区の役割は何か)
  - ③ 救援センターをどうするか具体的な議論が必要
  
2. 11 町会合同での救援センター運営に向けた取り組み案 東目白本町会会長  
資料0に沿った背景情報の説明と提案(資料0または「資料0+図」を参照)
  
3. 意見交換(○は参加者発言、★は編者による追加意見・情報、\*参加者による追加意見)
  - 参加町会は、現在、地域防災組織であるという認識はない。地域防災組織が何かは、東京消防庁のHPにある「地域防災組織の運営マニュアル」等を参照。  
[https://www.fdma.go.jp/mission/bousai/ikusei/items/bousai\\_2904.pdf](https://www.fdma.go.jp/mission/bousai/ikusei/items/bousai_2904.pdf)

\*地域防災組織の定義が区と消防で同じかどうかは要確認。

  - 発電機、D 級ポンプの点検は区の指示に従って行っている町会が5  
行っていない町会が2。発電機を御会式等の行事で使うので点検している。
  - 救援センター開設マニュアルの運営調整会議の委員長、副委員長、部長は、かつての防災訓練では、町会長に割り当てであった。現実的でないので、「避難した順に開設キットに従って開設をする」ことになったのは一歩前進ともいえるが、「開設キットがあることを知らない人が圧倒的に多く」「知っていても災害時に初見」では、実際に使えないので、準備が必要。どう準備を進めるかを協議する必要がある。
  - 南池袋小は地域防災拠点なので区役所配備職員は9名いるが、開設に9名が集まるとは限らず、9名でも開設ができるわけではない。

\*何人で開設可能かは要検討。区の職員は老若男女各職域全体で2010人(令和4年)。

★避難所以外の災害業務もあるため、特に、最初の3日間は、区職員の人員増は容易ではないと推測される。文京区の開設キットには「20人以下しかいない場合」があり、救援センターの役割部局各4人として20人が最低必要ではないかと推測される。

  - 町会ごとに役割が決まっていれば、必要な人を集めやすい。
  - 区の配備職員が、安全に到着するのに要する時間を見込んでおきたい。職員本人と家族の安全確保は最優先であり、夜間に駆け付けてケガをしてほしいわけではない。防災危機管理課には、配置職員の名簿の提出を引き続き要望する。
  - 居住者による家屋の補強、家具固定、3日分の備蓄は各自で行って、在宅避難を目指すのが基本。
  - 一時集合場所に屋根がない、椅子がないのは、高齢者にはきついで、屋根がある場所との協定を検討している町会もある。
  - 異なる時刻の災害発生に応じた整理が必要。

町会に提供された無線は受信のみ。テストで動かなかった場合もある。トランシーバーを独自に購入した町会もある。

\*無線が見当たらない町会については、再交付はできない(防災メールでよい)との回答

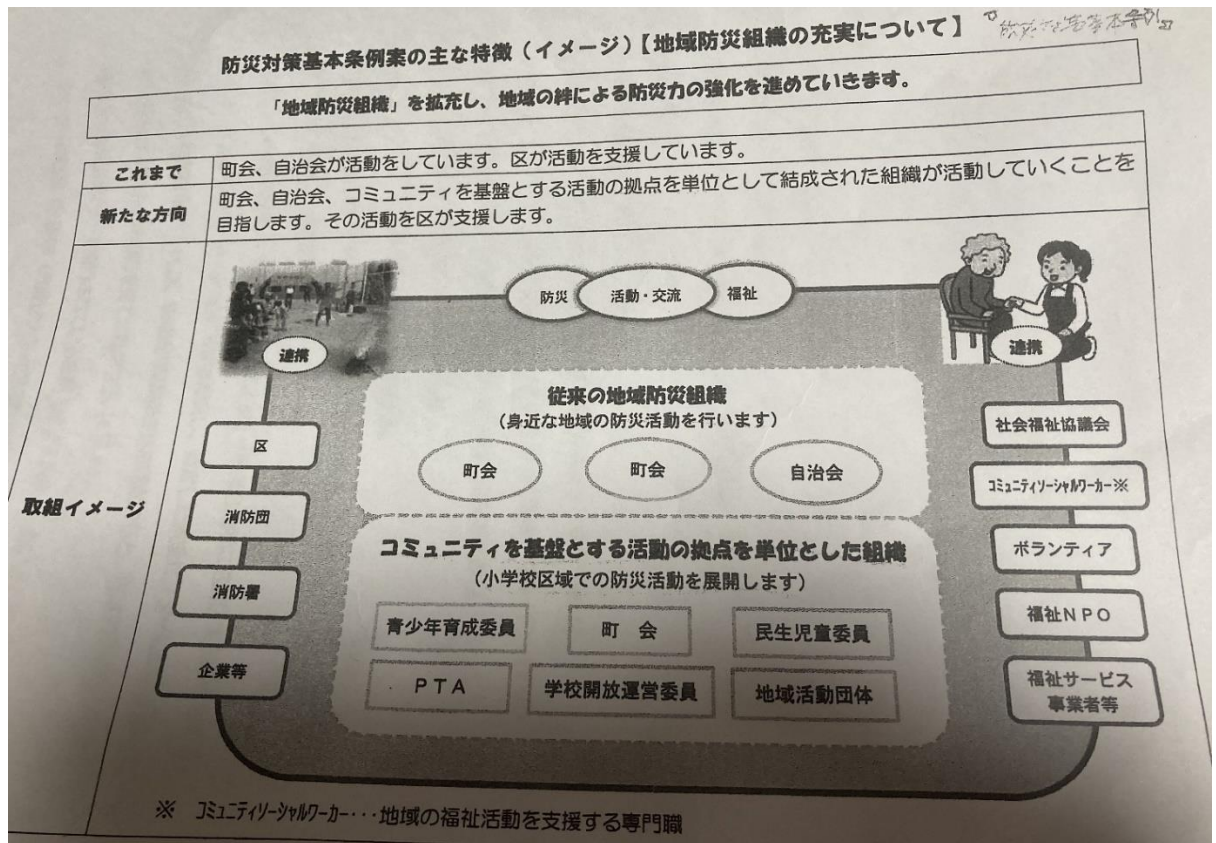
が区防災危機管理課からあった。

- 地域防災計画、救援センター開設標準マニュアル、開設キットカードを読む過程で出てきた疑問をリストアップして、まとめて、豊島区防災危機管理課に質問したい。
- 老朽化した町会の防災倉庫は、区からの助成上限 10 万円で建て直した。
- 空き地を防災倉庫や災害時に使用することを、区に支援してほしい。  
かつてあった第四出張所を区が売却した。公的施設が減っているため代替えが必要。
- ★町会として、私有地を借りるなどの検討もできるとよい
- 地域住民の意識づけにはイベントがよい。大鳥神社の祭礼で防災イベントをする等。かつての合同防災訓練では、南池袋小に11町会が集まった。ただし、小さい町会の参加者は少なかった。
- かつての合同訓練をしていた人は、一時集合場所から救援センターに行く流れは体に入った。
- ★当時は、在宅避難を強調していなかったため、「救援センターに、手ぶらでいけばいい」と思いこませた点の是正は必要。
- 訓練でも高齢者への配慮はしたい。立って見学するのが辛いという感想が増えてきた。
- 訓練対象を避難者にするか運営者にするか。参加者によって役割を分けてもいい。
- 運営者同士の顔合わせも重要。若い人に参加してほしい。70歳まで働く時代になったので、町会の担い手が高齢化している。自営業も減った。
- ★そのために、地域防災組織の構成図に町会以外も想定され多様になった。スクラムにも町会以外の組織からの参加を得るのが現代式。国の防災基本計画、東京都地域防災計画でも、近年、町会だけでない地域の多様な組織の参画を求める内容に変化している。
- 避難所運営を有償で依頼することも検討価値がある。
- ★現在、すぐに請け負える人材はいない。近隣に、災害を視野に入れて平時から地域のまちづくり活動を行う NPO を育成する事例が、被災地等で起こりつつある。
- ★防災 NPO「Mitaka みんなの防災」：三鷹市の自主防災組織を応援する中間支援組織としての役割があり、市民全体の防災力の底上げをしようと活動を始めている。  
<https://www.mitaka-minnano-bousai.jp>
- ★区の構想には、地域防災組織の構成員に育成会も入っており、小学校・中学校の保護者 OB など、学校での行事で警備・車の誘導などの実働部隊(おやじの会)も活躍できる素地はある。
- 豊島女性防災リーダー、町会婦人部など女性の参加、防災に関心のある地域居住者の参加も求めたい。
- ★資料0(p.5)の枠内の組織への拡張が望ましい。
- 防災意識を高めるために、被災地の経験談を聞くと良いのではないか。
- ★例えば、<https://www.risktaisaku.com/articles/-/729>
- 南池袋小体育館は12月から3月が工事。その間は体育館でなく、教室に避難という説

もある。その前に、給食室が工事。(工事は体育館でなく、校舎という事後情報あり)

★町会には、小学校の情報が入ってこないため、防災に関する協議には小学校からの参加も重要。

- 意見交換の内容について、参加していない人にも伝えていきたい。反対意見も出し合って試行錯誤していけばいい。
- 防災を発端に、多様な地域の課題について話し合う機会になると良い。



#### 4. 次回

日時: 令和5年6月20日(火) 18:30-20:30(部屋は 17:30-21:30)

場所: 区民ひろば南池袋 活動室(洋室2)

注意: 上履き、飲み物、「(カラー印刷)救援センター開設キット」、「開設マニュアル」「地域防災計画抜粋」、食事は必要な人は各自でご持参ください。部屋での飲食(アルコール以外)は可。

#### 5. 事務連絡

- 事前に準備できた資料は、メールに添付するので各自で印刷持参いただきたい。難しい場合は連絡をいただきたい。
- カラーで保管いただきたい資料は、当日、カラー印刷を配布。
- 連絡及び欠席者への資料配布は、原則、メールに添付ファイルとしたい。
- 会および会議の運営は、参加者全員で分担したい。
- 会の名称は、仮に「雑司が谷・南池袋地区 町会防災スクラム」とした。
- 11 町会長を「雑司が谷・南池袋地区 町会防災スクラム」メンバーとして登録してよい

か。

- 区民集会室(夜間)予約の際には、町会は無料、その他は 500 円なので、町会名で予約した。区民ひろばは町会以外も無料。
- 連絡用 LINE グループ：  
 スマホまたは携帯で下の QR コードをカメラで読み取り  
 (写真撮影ではなく)、下に黄色い表示が出たらボタンを押すと、連絡が容易になります。自信がない場合は、ぜひ、参加時に会場で。

以上

防災スクラム lineQR コード(省略)

ご案内と出欠状況

	町会名	3/3 出欠	5/19 出欠	6/20 出欠
1	池袋西睦町会	0	お返事なし	*
2	南池袋一丁目町会	0	お返事なし	
3	南池袋二三四町会	1	1	(1)
4	光和会	1	1	(1)
5	池袋東口親和町会	1	1	(1)
6	青葉会	1	1	0
		0	0	0
7	池袋日出町会	1	0	0
8	雑司が谷一丁目町会	1	1	1
9	雑司が谷一丁目東部町会	1	0	0
10	雑司が谷三丁目町会	1	1	1
	雑司が谷三丁目町会	1	ご案内せず	@
11	東目白本町会◆	1	1	1
	合計	10	7	
	豊島区防災危機管理課	1	ご案内せず	ご案内せず
	同	1	ご案内せず	ご案内せず
	同	1	ご案内せず	ご案内せず
	豊島区民社会福祉協議会	1	ご案内せず	ご案内せず
	南池袋二三四町会 副会長	1	1	(1)
	同 防犯・交通部長	1	ご案内せず	ご案内せず
	同 会計部長	1	0	0
	同 防災部長	1	1	1
	一般社団法人 ピースボート災害支援センター スタッフ	1	ご案内せず	ご案内せず
	同 コーディネーター	1	ご案内せず	ご案内せず
	南池袋小校長・教頭	ご案内せず	ご案内せず	ご案内せず

	南池袋小 PTA 会長	ご案内せず	ご案内せず	ご案内せず
	総計	19	9	4

\*は案内送付済み(5月24日)